

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第14週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,632例あり、2022年の累積報告数は24,652例となった。1週当たりの報告数としては、第4週の2,623例を超え過去最多となった。

全数報告の感染症 (14週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	80歳代	男	結核性胸膜炎	なし

新型インフルエンザ等感染症 (14週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 3,632例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	1,367例	200	274	233	222	231	112	51	26	13	5	-	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	601例	105	122	80	98	109	43	23	14	5	1	1	
延岡	403例	39	67	99	61	70	39	14	7	3	4	-	
日南	117例	12	32	17	12	20	10	11	2	1	-	-	
小林	153例	27	28	13	18	32	8	7	7	4	7	2	
高鍋	375例	89	70	44	65	47	29	12	13	5	1	-	
高千穂	50例	3	16	6	8	6	1	3	3	2	2	-	
日向	455例	79	72	59	57	74	28	40	22	16	8	-	
中央	80例	9	21	14	12	15	5	2	2	-	-	-	
県外	31例	5	5	9	5	5	1	-	1	-	-	-	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は341人(定点当たり9.5)で、前週比108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

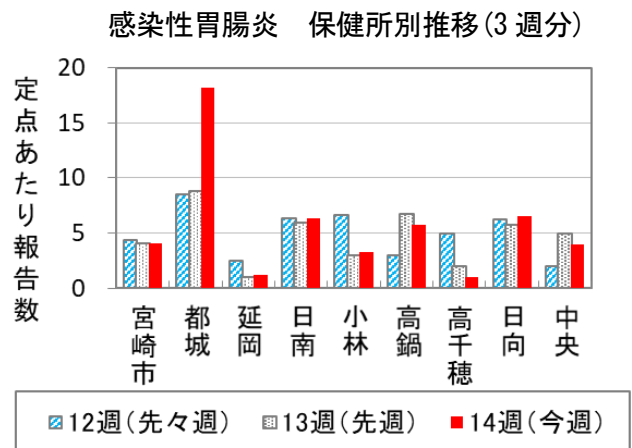
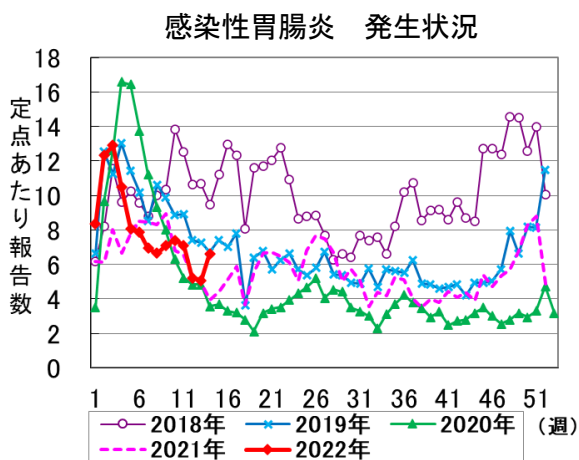
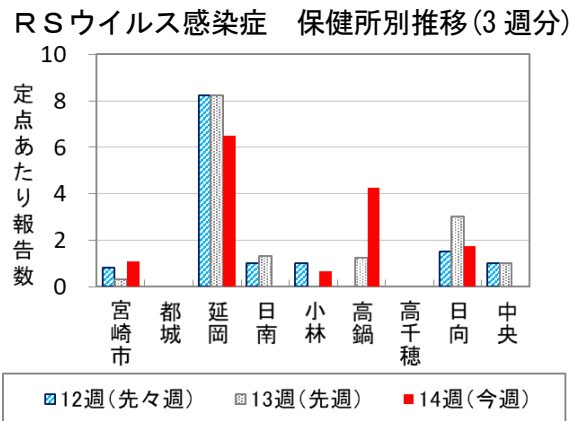
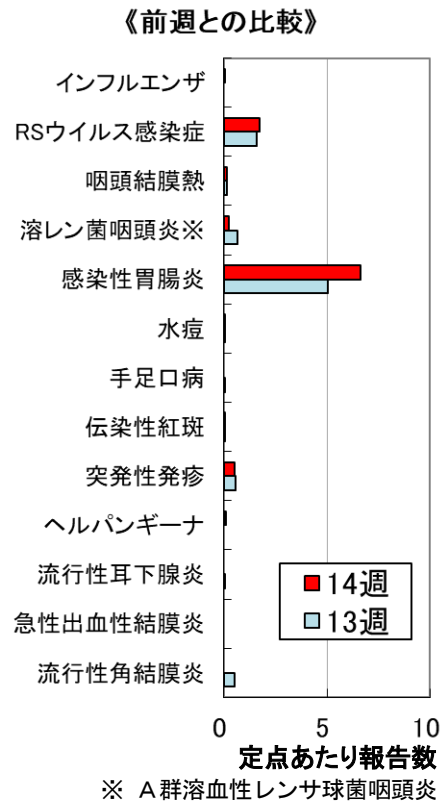
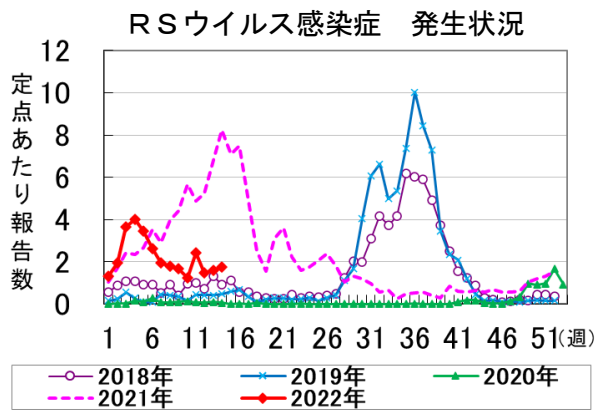
【RSウイルス感染症】

報告数は63人(1.8)で、前週比109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約0.9倍であった。延岡(6.5)、高鍋(4.3)、日向(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は2歳以下が約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は238人(6.6)で、前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.2)の約0.9倍であった。都城(18.2)、日向(6.5)、日南(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年4月11日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2021.10.18	ウイルス性発疹、エコーウイルス疑い、手足口病、39.2℃、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液	2022.03.31
ライノウイルス	0～4歳	男	2022.02.01	急性気管支炎、39.1℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2022.03.31

🇯🇵 全国 2022 年第 13 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	179 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	16 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例	レジオネラ症	18 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	100 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	百日咳	7 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘、伝染性紅斑及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 683 人(0.22)で前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.7)の約 0.1 倍であった。鳥取県(1.2)、新潟県(0.98)、富山県(0.66)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,793 人(2.8)で前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (3.9)の約 0.7 倍であった。愛媛県(6.8)、大分県(6.4)、鹿児島県(5.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第14週(04月04日～04月10日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.02	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	58	63	11		26		2	17		7	
	定点当り	1.61	1.75	1.10	0.00	6.50	0.00	0.67	4.25	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	6	4		1					1	
	定点当り	0.17	0.17	0.40	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	23	9	1		2	4	1	1			
	定点当り	0.64	0.25	0.10	0.00	0.50	1.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	182	238	41	109	5	19	10	23	1	26	4
	定点当り	5.06	6.61	4.10	18.17	1.25	6.33	3.33	5.75	1.00	6.50	4.00
水痘	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	21	18	6		1	2	5	4			
	定点当り	0.58	0.50	0.60	0.00	0.25	0.67	1.67	1.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		4				4					
	定点当り	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3										
	定点当り	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～14週)

2類感染症	結核	23例(1)			
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例	
	レジオネラ症	1例		つつが虫病	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	
	梅毒	21例	播種性クリプトコックス症	2例	
	百日咳	8例		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	24652例(3632)			
				水痘(入院例)	1例
				破傷風	1例

()内は今週届出分、再掲